

02 社員証・身分証・利用者証(ICカード)の管理

社員証・身分証・利用者証は、ICカードの機能を備えています。紛失したり、盗難にあたりしないよう、管理には十分配慮してください。また、他人への貸与や、譲渡はしないようにお願いします。

ICカードの機能

Webシングルサインオンサービス(SSO)

詳細については、P.018をご覧ください。

本学ではICカードの機能を利用して、パソコンへのスマートカードログオンやWebシングルサインオンのよりセキュアな個人認証、同志社生活協同組合のプリペイド方式の電子マネー利用などを実現しています。

施設の入退室チェックや教卓AVシステムの利用(キーレスエントリー)にもICカードが必要で



生協電子マネー

詳細については同志社生活協同組合窓口にお尋ねください。

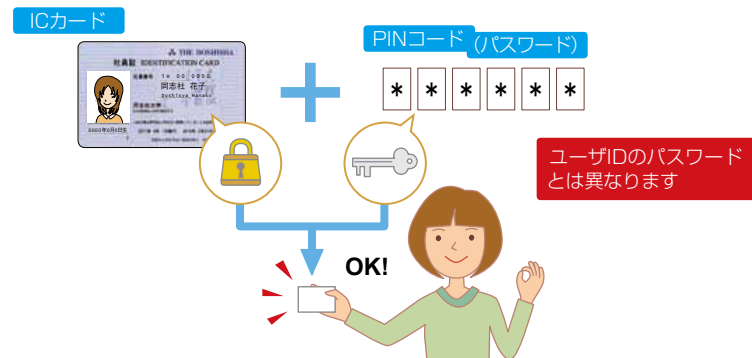
ICカードとPINコード

第三者によるICカードの不正利用を防止するため、ICカード機能を利用する際にはPINコードを入力します。

PINコード(Personal Identification Number：個人識別番号)とはICカードに設定された暗証番号・パスワードのことです。ICカードを利用する際に、PINコードを入力することでICカードの正当な利用者かどうか判定しています。なお、初期のPINコードはICカードとともにお渡しする通知書にてお知らせします。初回利用時にPINコード変更画面が表示されますので、必ず変更をお願いします。PINコードは非常に重要な情報ですので、しっかりと記憶・管理していただくをお願いします。(ユーザIDに設定されたパスワードとは異なりますのでご注意ください。)

PINコード

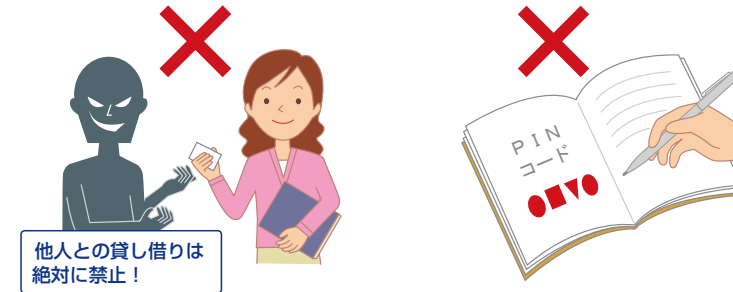
ICカードに設定された暗証番号です。4文字以上16文字以下で、英大文字・英小文字・数字・記号から設定します。ICカードには初期PINコードが設定されており、ICカードとともに配付しました、カード初期PIN通知書に記載されています。



社員証・身分証・利用者証(ICカード)とPINコードの管理

社員証・身分証・利用者証(ICカード)およびPINコードは十分に気を付けて管理する必要があります。

- 社員証・身分証・利用者証(ICカード)およびPINコードはともに個人に対して交付されるものです。他人との貸し借りは絶対にしないでください。
- 紛失や盗難に備え、未然に第三者による不正利用を防ぐために、社員証・身分証・利用者証(ICカード)とPINコードは別々に管理してください。PINコードは何かにかきとめずしっかりと記憶・管理してください。
- 社員証・身分証・利用者証(ICカード)を曲げたり、大きな圧力を加えたりしないでください。



社員証・身分証・利用者証(ICカード)とPINコードを用いて不正利用されると、プライバシーを侵害され被害者になるだけでなく、ネットワークを介して学内外に大きな被害を与えた場合は、加害者としての責任が問われることとなります。他人に知られることがないように厳重な管理をお願いします。

社員証・身分証・利用者証(ICカード)を紛失した場合、PINコードがわからなくなった場合

- 社員証・身分証・利用者証(ICカード)を紛失された場合、盗難にあった場合
下記事務室にて利用停止および再発行の手続きをしていただくをお願いします。

専任教員のみなさま	人事企画課、京田辺校地総務課
嘱託講師のみなさま	ITサポートオフィス

社員証・身分証・利用者証(ICカード)を再発行すると、PINコードも再発行されます。

- PINコードを忘れた場合
社員証・身分証・利用者証(ICカード)をご持参のうえ、ITサポートオフィスへお申し出ください。新たなPINコードを再発行いたします。なお、本人確認とICカードの直接操作が必要なので、電話でのお申し出には対応していません。
- PINコードがロックされた場合
PINコードを7回連続で間違えると、ICカードがロックされます。その場合は社員証・身分証・利用者証(ICカード)をご持参のうえ、ITサポートオフィスへお申し出ください。ロック解除いたします。なお、本人確認とICカードの直接操作が必要なので、電話でのお申し出には対応していません。

生協電子マネー

詳細については同志社生活協同組合窓口にお尋ねください。